

第14回全国市議会議長会研究フォーラム参加報告書

令和元年11月20日

貝塚市議会議長 様



(市民ネット貝塚)

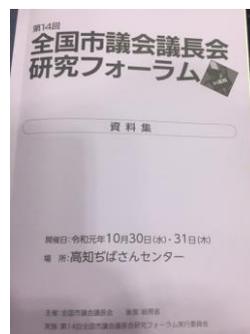
阪口 勇

平岩 征樹

川岸 貞利

【開催日】 令和元年10月30日・31日

【場 所】 高知ちばさんセンター



◇第1日：10月30日 13:00～

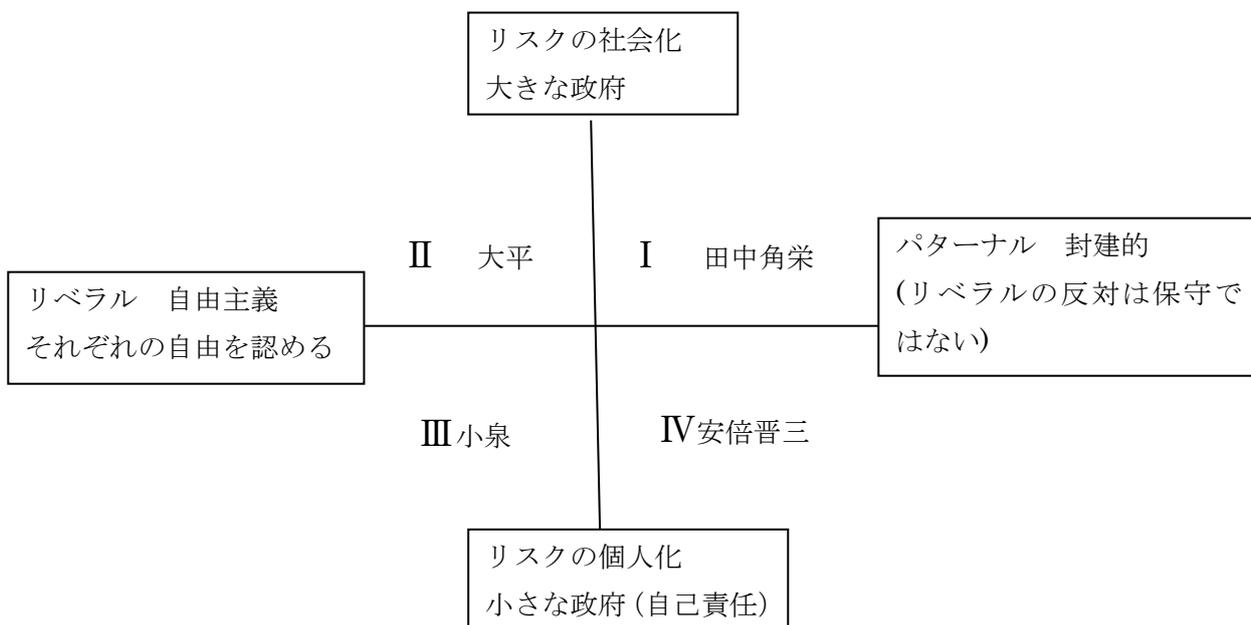
第1部、基調講演「現在政治のマトリクスーリベラル保守という可能性」

中島 岳志 氏 (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授)

○政治のマトリクス (マトリクス表) 政治家は2つの仕事をしている

①お金を集め、どのように使うのか (Y軸)

②権利、価値観としてどのような世の中を作るのか (X軸)



現在の安倍内閣は、IVで、日本は世界でも指折りの小さな政府とのこと
地方公務員の非正規化→災害に弱い

※政治家として自分自身がどの位置に当たるのか再確認できるお話でした。

また、保守とは何か？について

「伝統主義」（自然的保守主義）と「保守主義」（近代的保守主義）との違いを説明されました。

「改革」とは、過去から相続した歴史的財産に対する永遠の微調整
そして、そのことが保守である

- ・人間は間違えるもの
 - ・自分だって間違える
 - ・だから他人の意見を聞こう
 - ・そして議論して一致を見出していく
- よって保守は、リベラルであると締めくくられました。

第2部 パネルディスカッション 「議会活性化のための船中八策」

■コーディネーター

坪井 ゆづる 氏（朝日新聞論説委員）

■パネリスト

高部 正男 氏（市町村職員中央研修所学長）

横田 響子 氏（株式会社コラボ代表取締役／

お茶の水女子大学客員准教授）

古川 康造 氏（高松丸亀町商店街振興組合理事長）

田鍋 剛 氏（高松市議会議長）



- 行政監視機能をどう高め、成果をあげていくか。
 - 人口減少、災害対策など、地域の将来を見すえた政策論議をするために必要な視点とは。
 - 議員の高齢化、女性議員が増えない実態をどう変えられるか。
 - 住民の関心を高めるために何をすべきか。（投票率をあげるには）
- について各パネリストの取組みが発表されました。

高部氏からは、

- ①投票率の低下—地方選挙の統一化
- ②議員のなり手不足—労働法制の見直し、兼職・兼業規制の弾力化

- ③議会に関心を持ってもらうー議会運営の見直し、休日・夜間議会の開催
- ④行政監視の機能を果たすことが重要

横田氏からは、

中長期視点で街のめざす方向を議論すべき（人口減少を前提に）
ガチンコ会議を多様な人材で実施を（住民との会話をを行い）

古川氏からは、

高松丸亀町まちづくり戦略について、コミュニティーの存在こそが再開発の成功には必須の条件であったなどのお話があり、そのうえで議員のなり手不足について、「議員は何をしているのかわからない」ことが、住民に議会に対する関心が持たれず、議員になりたいと考える人も出てきにくい。もっと市民の代表として市民の声を聞き、議会の取組みを見えるようにすべき。

田鍋氏からは、

高知市議会の現状とこれまでの議会改革の取組みについて話されました。

◇第2日：10月31日 9:00～

課題討議

「議会活性化のための船中八策」

■コーディネーター

坪井ゆづる 氏（朝日新聞論説委員）

■事例報告者

滝沢 一成 氏（上越市議会議員）

久坂くにご 氏（鎌倉市議会議長）

古林 雄二 氏（周南市議会議長）



上越市議会の滝沢氏からは、市議を目指しやすい環境整備への取組みが発表されました。

- 1、市民と議会の距離を縮める
 - ①議会傍聴の改革・活性化
 - ②模擬議会、議会体験学習の実施
 - ③意見交換会の改革
 - ④広報PRの充実
 - ⑤土日、夜間、出張議会の開催
 - ⑥インターン制度、サポーター制度、勉強会等の実施
 - ⑦言葉、表現力の改革
- 2、選挙の困難さの解決

- ①選挙マニュアルの作成
- ②公職選挙法改善を国に求める
- 3、物理的課題の解決
 - ①議員報酬の適正化
 - ②社会保障の充実
 - ③政務活動費の見直し
 - ④議員定数の検討
- 4、取り巻く環境の解決
 - ①地域環境の整備
 - ②人材育成
- 5、女性特有の壁の打破
 - ①意識改革・啓発活動
 - ②地域活動との連携
 - ③バックアップ体制の整備
 - ④クオータ制度の検討

5つの大項目と19の小項目で構成する提言を答申し、取組みを進めている

鎌倉市議会の久坂氏からは、議会で報告会、意見聴取会を開催し各常任委員会に取りまとめ市へ提言していることや必要な時には市民アンケートの実施も議会で行ったとのこと。また、請願・陳情者が委員会の休憩中に、訴えを行えるようにもしているとのこと。

その他では、女性議員としてご自分の体験から、①出産に伴う議会欠席に関する規定、取得期間及び運用についての考え方の明示②子の看護休暇に関する規定の整備、③配偶者出産休暇の取得 女性が議員をめざせるための環境整備にむけての必要性を話されました。

周南市議会の小林氏からは、周南市が合併から議会解散までの経過の話があり、それを機に議会改革の歩みが積極的に進んだとのこと。

目標「市民に開かれた市議会」キーワード「公開」と「対話」

○議会活動への市民参画を促す

○市議会に関心を持ってもらう

議会改革特別委員会を設置して議会改革に取り組んだ内容が発表されました。

その中でも、こども議会の開催や行政監視機能の充実の取組みなどに関心を持ちました。

感想；2日目の議会改革の先進市議会の事例報告について、市民の方々に議会に関心を持っていただく取組み、市民の声を議会として聞く取組みなどを率先して行っていることに感銘を受けました。

貝塚市議会でも、これから取り組んでいかなければならないことであり、今回の研究フォーラムは大変勉強になりました。